

愛寿会だより

3 月号
第 177 号
平成 26 年
3 月 10 日発行



一週間ぶりに営業開始したデイサービス。ご迷惑をお掛け致しましたが、皆様お元気な様子で笑顔が溢れていました。

県内記録的な大雪となり、関係各位に多大なご迷惑をお掛けいたしました

二月十四日未明から十五日午前中までに降り続いた雪は、県内で記録的な大雪となりました。

当仁生園においても例外ではなく一四〇cmは超えていたものと思われまます。

除雪車による除雪は、幹線道路が優先され、当施設敷地内の除雪作業は職員が手作業で、取り急ぎ行われました。

仁生園

【特 養】 仁生園では、入所者の皆様のお世話をする職員の確保が喫緊の課題となり、施設から比較的近い場所に居住する職員に対し順次登園を促し、人員の配置が適切なものとなるよう配慮しました。職員の中には連絡を受けてから、あの雪の中を三時間〜五時間かけて徒歩で登園し、介護業務に従事し、その後、三泊四日の勤務を協力的にやってくれた職員も大勢いました。

暖房用の燃料は、降雪前に発注を済ませていたものの配送不能となり、地元業者様のご協力により三〇〇〇リットの重油の確保ができました。

【給 食】 委託業者による食材の配送が滞り、業者・職員による調達（買出し）、施設内非常食の活用で、食事の提供に支障はありませんでした。

【医務室】 看護師四名中二名が登園不可の状態に陥り、残された一名が四名分の看護を任されることとなってしまいました。介護職の皆さんのご協力に感謝することしきりです。

【デイサービス・ショートステイ・相談センター】 デイサービスでは、二月十五日〜二十二日の間、長期営業休止を余儀なくされ、利用者、ご家族並びに関係各位に多大なご迷惑をお掛けし、お詫び

申し上げます。利用者の皆様の安否確認のために全戸訪問を行いました。玄関前までの除雪などご近所の方のご協力を得ながら、営業再開に向けて除雪作業をさせていただきました。

相談センターでも利用者様宅への訪問ができず、ショートステイ・デイサービスの利用予定者様への連絡調整に追われる日々でした。

【グループホーム「やすらぎ」】

北側の居室の窓はすっかり埋もれ、破損を心配するほどでした。食事の支度には、ご家族様に心配をいただき、急場をしのぐことができました。心から感謝申し上げます。

第二仁生園

大人の肩まで埋まるほどの積雪となりました。職員は帰宅ができず、そのまま施設に泊まり込み、翌朝から再び勤務と言う体制を余儀なくされました。

短期でご利用のお客様も延泊となり、ご家族様への連絡や道路事情の把握に努めた結果、無事ご帰宅されました。

給食に関しては、やはり配送が間に合わず非常時用の備蓄で対応しましたが、欠食・遅延は一度もありませんでした。

この度の豪雪には、いろいろな経験をさせていただきました。多くの方々のご理解とご協力を賜りながら、入所者・利用者の皆様に不安な思いをさせることなく介護業務を遂行することができました。

関係各位には、心から御礼申し上げます。

未曾有の大降雪のため「後援会役員会」を開催することができませんでしたが・・・
 「書面による議決」に基づいて 事業計画・当初予算のご了承をいただきました

平成二十五年度
 愛寿会 後援会 役員会
 (社会福祉法人 愛寿会 後援会 事務局)

前号でお知らせした、愛寿会后援会役員会(二月二十一日(金)開催予定)は、大雪の後の道路事情等の影響で開催を断念することになりました。愛寿会后援会役員会は、後援会事業の運営について「決定機関」の役割を担う組織で、例年この時期に、今年度事業の進捗状況や来年度事業の実施計画、並びに、来年度の当初予算などについて審議する目的で開催されてきたものです。

この後援会にとつて重要な会議を流会とすることができないことから、止むを得ず「書面による議決」という形をとることといたしました。

以下、議題(案)と、その内容を掲載いたしますので、ご理解とご協力をいただきたいと思います。

【議題(案)】

第一号 平成二十六年事業計画について

・「夏まつり」の開催に対する資金支援

・「最新介護機器整備事業(※)」への取り組み

(※)以下に関連記事掲載

・「介護福祉士資格取得」及び「研究委員会の研修研究」に対する資金支援

第二号 愛寿会后援会への入会状況

・地域・年度別入会状況(※)

第三号 平成二十五年度補正予算について
 第四号 平成二十六年当初予算について(※)

議題第一号では、「最新介護機器整備事業の取り組みとして「3(スリー)モーターベッド」の整備事業をご報告しています。

議題第二号では、後援会への入会者の状況を表示し、入会者数が年々減少している状況をご報告しています。

議題第三号と第四号は、予算についてご審議をいただく

予定にしております。介護福祉士資格取得のための講習会費用や敬老の日などの実施費用について、平成二十五年から「夏まつり」(教養娯楽費)と同様に、後援会が直接支出する「事業費支出」として計上することとし、平成二十六年度もこれを踏襲して、後援会の当初予算の編成を行います。

「書面議決」の結果は、役員の皆様から「賛成」とのご表明をいただき、平成二十六年度の事業運営に邁進していくことを改めて確認し、決意を誓いました。



「スリーモーターベッド」

平成26年度 資金収支予算書

(単位=千円)

勘定科目		①平成26年度	②平成25年度	増減 ①-②
収入	163 受取利息配当金収入	0	0	0
	167 施設整備等寄附金収入	0	0	0
	180 事業区分間繰入金収入	2,200	2,200	0
収入計(1)		2,200	2,200	0
事業・その他の活動による収支	112 事業費支出	2,000	1,850	150
	05 保健衛生費支出	0	0	0
	08 教養娯楽費支出	1,200	1,100	100
	14 消耗器具備品費支出	800	750	50
	113 事務費支出	670	647	23
	04 研修研究費支出	550	530	20
	05 事務消耗品費支出	10	5	5
	06 印刷製本費支出	0	0	0
	10 通信運搬費支出	20	20	0
	11 会議費支出	50	50	0
	12 広報費支出	0	0	0
	14 手数料支出	30	30	0
	22 雑支出	10	12	△ 2
	134 事業区分間繰入金支出	2,100	5,100	△ 3,000
	支出計(2)		4,770	7,597
141 予備費支出(3)		0	0	0
当期資金収支差額合計(4)=(1)-(2)-(3)		△ 2,570	△ 5,397	2,827

愛寿会后援会 入会状況表

(平成25年12月31日現在) (単位=件・円)

区分	年度別入会件数			実件数	終身会員		
	23年度	24年度	25年度				
山梨県	北杜市	明野町	1	1	2	3	0
		大泉町	15	15	13	50	1
		小淵沢町	29	25	19	52	5
		須玉町	7	6	3	7	0
		高根町	16	14	11	28	0
		長坂町	72	66	58	112	4
		白州町	18	10	10	26	1
		武川町	2	1	1	4	2
	北杜市計	160	138	117	282	13	
県内他市町村		17	15	15	30	2	
他の都道府県		20	27	26	43	7	
合計		197	180	158	355	22	

※1 「年度別入会件数」欄の数値は、年度毎の入会者(寄附者)数です。
 ※2 「実件数」欄の数値は、平成22年度以降の入会者(寄附者)の合計です。

仁 生 園

♪ 節分 『豆まき』 ♪

二月二日の日曜日、各フロアにおいて節分行事が行われました。

一―三班では、午後の豆まきのメインイベントに向けて午前中から準備を開始。まずは、鬼の面の色塗りからスタートしました。皆様日頃、絵手紙で鍛えているだけあって色塗りはお手の物。

昔は近所中から大きな声が聞こえてきたものだ。オニは外へ出てな」「豆は年の数だけ食べるのだぞって言われてね」「そうそう！摘んだ豆を一生懸命数えたよ。豆も美味しかったねえ」



昔の思い出話に花を咲かせながら、鬼の面が次々に完成し豆まきの気分も準備も万端。

午後はいよいよ豆まきです。鬼の面をかぶった職員に「オニは外！福はく内！オニのまなこをぶつつぶせ！」と元氣一杯。

あらゆる災いが退散し、今年も無病息災であることが叶う氣迫十分な豆まきでした。

♪ 誕生会 『寿司会食』 ♪

「何が食べたいですか・？」入所者様の希望等を伺う『入所者のつどい』でいつも必ず出てくるお寿司の話題。誰もが御馳走というたましい浮かぶ食べ物ではないでしょうか。



二月の誕生会は日清医療食品さんの協力のもと、『寿司会食』が行われました。普段お粥を召し上がっている方も、お寿司なら食べられると希望される方も沢山います。握り寿司のネタは、マグロ、エビ、アナゴ、玉子、細巻等お年寄りに食べやすいように配慮していただきました。

お粥の方にも細かくしたマグロや玉子が添えられていました。また、ケーキもあり豪華な会食となりました。

「また、来年お願いしたいね」の声掛けに「明日でもいいよ」と、とびっきりの笑顔と供に返事が返ってきました。



♪ グループホーム 『やすらぎ』 ♪

二月十四日から記録的な大雪に見舞われた、「やすらぎ」の玄関の様子を写真に収めました。外出もできず、食材の心配をしましたが備蓄もあり、またご家族様にもご配慮をいただき、急場をしのぐことができました。

入居者様も体調を崩された方はなく、平穏な生活を送られています。心から感謝申し上げます。



♪ 生活支援ハウス 「こあらま」 チョコレートフォンデュ ♪

フルーツやマッシュマロ、ビスケットをチョコレートでコーティングして召し上がっていただきました。



外は雪がまだまだたくさん残っていましたが、こあらまフロアへは暖かい陽が入って、ポカポカするなかでお茶と甘いおやつを食べながら、デイサービスを利用している時の話などで会話も弾み、何度も楽しそうに笑い声が聞こえるとても良い交流の場となりました。

感謝

平成二十六年二月一日
平成二十六年二月二十八日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございました。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となつて誠心誠意努めて参ります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。略儀ながら、お礼状に替えさせていただきます。

金員・物品のご寄附

- ・ 神奈川県三浦市 三浦ライオンズクラブ 様
- ・ 北杜市 北杜ライオンズクラブ 様
- ・ 韮崎市 細田 太満美 様
- ・ 北杜市 フジモリ電気 藤森 喜正 様

ボランティア活動

- ・ レクボランティアほがらかグループ 代表 吉田 道子 様
- ・ レクボランティアゆずっこの会 代表 佐野 恭子 様
- ・ 北杜市 うたなま八ヶ岳 保坂 多枝子 様
- ・ 北杜市 井上 早智子 様
- ・ 北杜市 三村 明子 様
- ・ 北杜市 原田 勝子 様
- ・ 北杜市 青柳 昭次 様

神奈川県三浦市特産の「野菜」が届きました

北杜ライオンズクラブ会長 篠原秀彦様から

山梨県は十四日未明から雪が降り続き、未曾有の積雪により県内では直接の被害はもとより、交通の大混乱により陸の孤島と化し、県民生活は多岐にわたりにわたる面です。困窮しております。

さて当クラブの姉妹クラブである、神奈川県三浦ライオンズクラブは、メディアをとおしてこの様な窮状を危惧し、ライオンズ精神である「奉仕をしよう」と行動を起こし、山梨では不足をしているだろうと、三浦市の特産である野菜類の支援品が当クラブに届き、仁生園にも配られました。



三浦ライオンズクラブ様、北杜ライオンズクラブ様、たくさん「野菜」ありがとうございました。

日清医療食品様から「あいさつ」

大雪の影響により交通網が麻痺し、食材搬入に大きく支障をきたしましたが、災害時用の備蓄食、園の職員様、弊社担当者による買出し等で通常に近い形で食事提供させて頂くことができました。心より感謝申し上げます。

今後、弊社と致しましては、降雪時のマニュアル・備蓄食材について再度見直しを図り、災害時においても安心して頂きますよう努力して参る所存でございます。何卒、引き続き御愛顧を賜りますよう伏してお願ひ申し上げます。

第二仁生園

山梨県共同募金

平成二十四年度配分平成二十五年度事業で

空気清浄機等を整備しました

毎年の暖かい善意で平成二十五年度事業は空気清浄機四台、折りたたみクイックテント一基を整備しました。

この空気清浄機は高濃度プラズマクラスター（浮遊カビ菌等を空中で除去しウイルスの作用を抑え除去する）加湿機能付きのものです。ウイルスが生存しやすい乾燥・低温の環境になると音声でお知らせしてくれて、自動的にプラズマクラスターと加湿を強化します。その音声が聞こえた時に「ロボットみたいだね。」と利用者様も不思議な顔をされていました。寒い冬の間は窓を開閉できない食堂、または日中の活動スペースの場に常時置いていきます。

折りたたみテントについては、外活動の際に日除け・寛ぎように活用いたします。ありがとうございます。



愛寿会サービスへのご意見・ご要望や施設見学等のご希望がございましたら左記までご連絡ください。
仁生園 電話 0551(32)3340
第二仁生園 電話 0551(32)8270